

東京都知事 殿

学校法人 明誠学園

理事長 海瀬 光雄

大学等における修学の支援に関する法律第 7 条第 1 項の確認に係る申請書

○申請者に関する情報

大学等の名称	ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校
大学等の種類 (いずれかに○を付すこと)	(大学・短期大学・高等専門学校 <u>専門学校</u>)
大学等の所在地	東京都世田谷区下馬 2-37-15
学長又は校長の氏名	田口 雅男
設置者の名称	学校法人 明誠学園
設置者の主たる事務所の所在地	東京都世田谷区下馬 2-37-15
設置者の代表者の氏名	海瀬 光雄
申請書を公表する予定のホームページアドレス	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/

※ 以下のいずれかの□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 確認申請

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 1 項に基づき確認申請書を提出します。

 更新確認申請書の提出

大学等における修学の支援に関する法律施行規則第 5 条第 3 項に基づき更新確認申請書を提出します。

※ 以下の事項を必ず確認の上、すべての□にレ点 (☑) を付けて下さい。

 この申請書 (添付書類を含む。) の記載内容は、事実と相違ありません。 確認を受けた大学等は、大学等における修学の支援に関する法律 (以下「大学等修学支援法」という。) に基づき、基準を満たす学生等を減免対象者として認定し、その授業料及び入学金を減免する義務があることを承知しています。 大学等が確認を取り消されたり、確認を辞退した場合も、減免対象者が卒業するまでの間、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。 この申請書に虚偽の記載をするなど、不正な行為をした場合には、確認を取

り消されたり、交付された減免費用の返還を命じられる場合があるとともに、減免対象者が卒業するまでの間、自らが費用を負担して、その授業料等を減免する義務があることを承知しています。

- 申請する大学等及びその設置者は、大学等修学支援法第7条第2項第3号及び第4号に該当します。

○各様式の担当者名と連絡先一覧

様式番号	所属部署・担当者名	電話番号	電子メールアドレス
第1号	教務課 山口信生	03-3410-7511	info@york-gba.ac.jp
第2号の1	教務課 岸 啓太	03-3410-7511	info@york-gba.ac.jp
第2号の2	総務課 田口雅男	03-3410-7511	info@york-gba.ac.jp
第2号の3	教務課 山口信生	03-3410-7511	info@york-gba.ac.jp
第2号の4	総務課 田口雅男	03-3410-7511	info@york-gba.ac.jp

○添付書類

※ 以下の事項を必ず確認し、必要な書類の□にレ点 (☑) を付けた上で、これらの書類を添付してください。(設置者の法人類型ごとに添付する資料が異なることに注意してください。)

「(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置」関係

- 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表《省令で定める単位数等の基準数相当分》
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》

「(2)-①学外者である理事の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の設置者の理事（役員）名簿

「(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置」関係

- 《一部の設置者のみ》大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織に関する規程とその構成員の名簿

「(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表」関係

- 客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料
- 実務経験のある教員等による授業科目の授業計画書（シラバス）《省令で定める単位数等の基準数相当分》【再掲】

その他

- 《私立学校のみ》経営要件を満たすことを示す資料
- 確認申請を行う年度において設置している学部等の一覧

(添付書類) 経営要件を満たすことを示す資料

学校名	ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校
設置者名	学校法人 明誠学園

I 直前3年度の決算の事業活動収支計算書における「経常収支差額」の状況

	経常収入(A)	経常支出(B)	差額(A)-(B)
申請前年度の決算	109,921,606 円	114,306,722 円	▲4,385,116 円
申請2年度前の決算	119,740,479 円	107,972,509 円	11,767,970 円
申請3年度前の決算	113,208,329 円	112,968,362 円	239,967 円

II 直前の決算の貸借対照表における「運用資産-外部負債」の状況

	運用資産(C)	外部負債(D)	差額(C)-(D)
申請前年度の決算	39,311,329 円	6,515,003 円	32,796,326 円

III 申請校の直近3年度の収容定員充足率の状況

	収容定員(E)	在学生等の数(F)	収容定員充足率 (F)/(E)
今年度(申請年度)	200 人	103 人	51%
前年度	200 人	136 人	68%
前々年度	200 人	135 人	67%

(IIの補足資料)「運用資産」又は「外部負債」として計上した勘定科目一覧

○「運用資産」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	資産の内容	申請前年度の決算に おける金額
普通預金	きらぼし銀行、三菱UFJ銀行、三井住友銀行	37,377,983 円
現金		1,933,346 円
		円

○「外部負債」に計上した勘定科目

勘定科目の 名称	負債の内容	申請前年度の決算に おける金額
未払金	職員給与、リース代金	6,515,003 円
		円
		円

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校
設置者名	学校法人 明誠学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
語学・ビジネス専門課程 (商業実務関係)	グローバルビジネス学科(2年制)		660	80×2=160 時間	
	国際福祉学科(2年制)		420	80×2=160 時間	
	起業実践学科(2年制)		540	80×2=160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ上で公開 https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校
設置者名	学校法人 明誠学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページ上で公開	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/
--------------	---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	始期：令和3年4月3日 終期：令和6年4月3日	学校運営の助言
非常勤	会社役員	始期：令和3年4月3日 終期：令和6年4月3日	学校運営の助言
非常勤	会社役員	始期：令和3年4月3日 終期：令和6年4月3日	学校運営の助言
非常勤	会社役員	始期：令和3年4月3日 終期：令和6年4月3日	学校運営の助言
非常勤	元会社役員	始期：令和3年4月3日 終期：令和6年4月3日	学校運営の助言
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校
設置者名	学校法人 明誠学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>各授業科目については、毎年度科目検討会議を実施し、授業科目の設定、講義内容の検討を行い、担当教員・講師により作成を行っている。</p> <p>作成内容としては、科目名、担当教員名、授業の到達目標、講義概要、授業計画(毎回の授業プラン)を作成する。また、成績評価方法はすべての科目において共通で、学内統一形式でシラバスの作成を実施している。</p> <p>【取り組みの概要】</p> <p>次年度の授業計画を12月から2月上旬に担当教員・講師が作成し、科目検討会議において精査し、校長、理事長の確認承認を得て決定する。</p> <p>3月下旬に次年度分学生配布用の資料を作成し、シラバスをホームページ上に公表。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>修学の成果は以下の三点を評価基準として、合格者に対して履修科目の認定を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 期末試験結果(70%) 2. 課題の成績、学習態度等の平常点 3. 出席率 <p>成績評価による学業結果を総合的に判断するため評定平均値(Grade Point Average)(以下「GPA」という)を用いる。</p> <p>なお、GPAの算出方法等の詳細は別に定め、ホームページに公表。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学業成績は、各授業科目ごとに実施する定期試験、平素の学習状況、出席状況、小テスト等の要素を総合的に勘案し、評価する。</p> <p>各授業の評価は100点満点とし、60点以上を合格とする。</p> <p>評価点数に95～100点をS、80～94点をA、70～79点をB、60～69点をC、として成績を通知する。各授業の成績評価を数値に置き換え、平均成績を算出する。各成績は、S=4.0、A=3.0、B=2.0、C=1.0に換算する。</p> <p>成績の評価方法については、ホームページに公表。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業認定に関する方針】</p> <p>1. 学則第3章第8条及び9条に規定する授業時間数及び単位数を取得し、第4章第17条及び第18条に規定する条件を満たすことにより卒業の認定を行う。</p> <p>2. 各学科の卒業に必要な授業時間数は以下の通りとする。</p> <p>①グローバルビジネス学科においては、卒業に必要な総授業時間数1,990時間。</p> <p>②国際福祉学科においては、卒業に必要な総時間数2,010時間。</p> <p>③起業実践学科においては、卒業に必要な総時間数1,990時間。</p> <p>3. 卒業の認定にあたっては、学内における「卒業判定会議」の協議により決定する。</p> <p>卒業認定に関する方針はホームページに公表。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校
設置者名	学校法人 明誠学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/
財産目録	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/
事業報告書	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

グローバルビジネス学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		語学・ビジネス専門課程	グローバルビジネス学科	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1990 単位時間 単位時間／単位	1950 単位時間 ／単位	40（選択必修） 単位時間 ／単位	40（選択必修） 単位時間 ／単位	単位時間 ／単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
120人		86人	84人	8人	25人	33人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等

担任制を導入し学生一人一人への支援を徹底している。学生個別面談、カウンセリングの実施している。個々の学生に対するプログラムを作成している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 (100%)	4人 (13%)	7人 (23%)	19人 (63%)
（主な就職、業界等） 貿易会社、NPO法人、外国人材管理会社、情報機器販売会社			
（就職指導内容） 個人起業を含め、企業内起業等を実施している会社等についての理解を深めるための就職指導を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC、秘書検定、簿記等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102人	16人	15%
（中途退学の主な理由） 経済的な学業困難、新型コロナウイルス感染症への不安、出席不良。		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生の個人面談を通して生活状況、経済状況を把握し、アドバイスを実施している。		

国際福祉学科

		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		語学・ビジネス専門課程	国際福祉学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間 単位時間/単位	1990 単位時間 /単位	単位時間 /単位	120 位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		0人	0人	1人	0人	1人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式2号の3【（3）厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等
（概要） 担任制を導入し学生一人一人への支援を徹底している。学生個別面談、カウンセリングの実施している。個々の学生に対するプログラムを作成している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）	0人 （%）
（主な就職、業界等） 介護福祉関連企業、福祉サービス提供企業等を予定している。			
（就職指導内容）			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC、秘書検定、簿記等、介護職初任者研修等を予定			

(備考) 学生募集は、広報活動を含め積極的に実施しているが、入学者は0名である。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

起業実践学科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		語学・ビジネス専門課程	起業実践学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1990 単位時間 単位時間/単位	1950 単位時間 /単位	40 (選択 必修) 単位時間 /単位	40 (選 択必 須) 位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		17人	15人	2人	25人	27人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3を参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 様式2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4を参照
学修支援等
(概要) 担任制を導入し学生一人一人への支援を徹底している。学生個別面談、カウンセリングの実施している。個々の学生に対するプログラムを作成している。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
14人 (100%)	1人 (7%)	5人 (36%)	8人 (57%)
(主な就職、業界等) 貿易会社、NPO法人、外国人材管理会社、情報機器販売会社			
(就職指導内容) 個人起業を含め、企業内起業等を実施している会社等についての理解を深めるための就職指導を実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) TOEIC、秘書検定、簿記等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	8人	23%
(中途退学の主な理由) 経済的な学業困難、新型コロナウイルス感染症拡大、出席不良への不安。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生の個人面談を通して生活状況、経済状況等を把握し、アドバイスを実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
グローバルビジネス 学科	250,000 円	560,000 円	170,000 円	
国際福祉	250,000 円	560,000 円	170,000 円	
起業 実践	250,000 円	560,000 円	170,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校ホームページ上で公開 https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 卒業生、関連企業 (卒業生の就職先を含む) など学校関係者評価委員会を組織し、教育内容、学校運営等の評価を実施する。カリキュラム検討委員会、運営委員会を組織し、学校関係者評価結果を次年度以降の改善に活用する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 役員	令和2年4月1日～令和4年3月31日	業界関係者
食品販売関係株式会社 会社員	令和2年4月1日～令和4年3月31日	業界関係者
株式会社 人事担当者	令和2年4月1日～令和4年3月31日	業界関係者
宿泊施設関係会社 会社員	令和2年4月1日～令和4年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法 学校ホームページ上 https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

学校ホームページ上で公開

<https://www.york-gba.ac.jp/about/disclosure/>